

# 民主政治の成立



## (i) 政治と国家

■ **政治**：人々が共存するために社会全体に関わる事項を調整し、決定する活動のこと  
選挙や政党のイメージとして強いと思うが、クラスでの多数決や部活での話し合いも広い意味で政治といえる。

■ **国家の三要素**：国家に必要な三要素→①〔<sup>1</sup> 〕・②〔<sup>2</sup> 〕・③〔<sup>3</sup> 〕

① 領域…領土・領海<sub>※1</sub>・領空からなる

\*〔<sup>4</sup> 〕(EEZ)：基線から200海里の距離で、漁業や資源の権利が認められる範囲

+α 日本の周辺には、レアアースやメタンハイドレートといった天然資源が採れる場所があり、この権利を取り合うがために、近隣諸国との領土問題が生じている。

★日本の国土面積は38万km<sup>2</sup>(世界60位)だが、領海+EEZの海域面積は447万km<sup>2</sup>(世界6位)である。

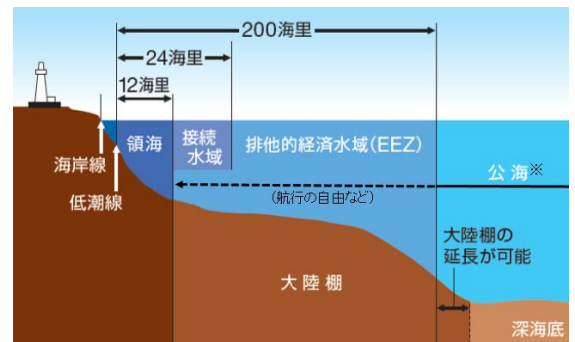
② 主権…「最終的な意思を決定する権力」

「全ての人を統治する権力」

「他国から独立できる権力」

これらが備わった国を、〔<sup>5</sup> 〕という。

cf:〔<sup>6</sup> 〕…主権の概念を理論化した人物



※1 領海・排他的経済水域の模式図(海上保安庁 HP より)

## (ii) 国家のあり方

### 《絶対王政から民主政治へ》

ヨーロッパの近代国家=王による支配で成り立っていた。(絶対王政)

この頃の思想=〔<sup>7</sup> 〕→王による独裁支配を正当化



17c~18c **市民革命**：政治の仕組みを根本的に変えよう！という動きが世界的に広まる

〔<sup>8</sup> 〕：王権神授説を否定する形で、新たな国の在り方を示していった。

cf:時代によって変化してきた国家の形

18c~19c〔<sup>9</sup> 〕  
市民革命がおり、国民が自由を獲得した。  
国家は、国民の生活にあまり関わらない。  
**最小限の治安維持**にとどめていた。

cf:別名 **小さな政府**



20c〔<sup>10</sup> 〕  
失業問題や不況により、生活が苦しくなる  
やはり、国が貧富の格差解消へ向けて  
**積極的に介入**する必要があると考えた。

cf:別名 **大きな政府**

## 《社会契約説》

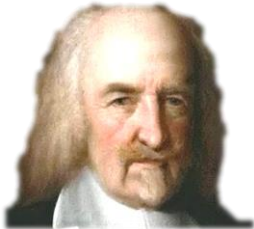
- **社会契約説**：自由で平等な人間が国家樹立のために契約を結び、それを基にした政治権力の樹立を提唱した

社会契約説を提唱した人物として有名なのが3人！超頻出なので確実に覚えておきたい。

①人間は自然状態でどうなる→②国は自然状態でどうなる→③このような国を作るべき！  
という同じような流れで整理すればよいので、丁寧に抑えていこう。

11

(英:1588~1679) Thomas Hobbes



- \*主 著 [12]
- \*人間観 生まれつき自己保存の欲望がある  
⇒欲望を満たすために互いに争い合う
- \*自然状態 [13]  
⇒このままでは人間は恐怖と不安に襲われてしまう。

\*理想国家 人民を守るために、すべての権利を放棄し**自然権を譲渡**する。  
そして、統治者が**強大な力で国民を服従させるのが理想的である**と説いた。  
※結果的に絶対王政のような国家を正当化したことになった。

14

(英:1632~1704) John Locke



- \*主 著 [15]
- \*人間観 人間は理性をもち、基本的には平和を求める。  
⇒しかし、絶対確実に保証されるわけではない。
- \*自然状態 基本的に自由平等が保たれるが、確証はない。  
一部の人により、財産や生命が侵害される危険もある。

\*理想国家 人権の侵害があった時にそれを**裁く権力(=議会)が必要!**(**間接民主制**を理想)  
国民は議会に**自然権を信託**する。  
※もし議会が権力を乱用したときには、[16] (**革命権**)を行使する。

17

(仏:1712~78) Jean-Jacques Rousseau



- \*主 著 [18]
- \*人間観 自由で平等で、思いやりのある存在
- \*自然状態 本来は平等な世界であるが、発達することで格差が生まれ、戦争状態を生み出してしまうことがある。

\*理想国家 みんなが初心に帰れば大丈夫。(有名な言葉「自然に帰れ」)  
→社会の幸福を目指す共通の意思 = [19] をもち、  
みんなが政治に参加できる**直接民主制**が理想!

+α

- ロックの思想は**アメリカ独立革命**に影響を与えた
- ルソーの思想は**フランス革命**に影響を与えた

# 民主政治の成立



## (i) 政治と国家

■ **政治**：人々が共存するために社会全体に関わる事項を調整し、決定する活動のこと  
選挙や政党のイメージとして強いと思うが、クラスでの多数決や部活での話し合いも広い意味で政治といえる。

■ **国家の三要素**：国家に必要な三要素→①〔<sup>1</sup> **領域**〕・②〔<sup>2</sup> **主権**〕・③〔<sup>3</sup> **国民**〕

① 領域…領土・領海※<sub>1</sub>・領空からなる

\* 〔<sup>4</sup> **排他的経済水域**〕(EEZ)：基線から200海里の距離で、漁業や資源の権利が認められる範囲

+ α 日本の周辺には、レアアースやメタンハイドレートといった天然資源が採れる場所があり、この権利を取り合うがために、近隣諸国との領土問題が生じている。

★日本の国土面積は38万km<sup>2</sup>（世界60位）だが、領海+EEZの海域面積は447万km<sup>2</sup>（世界6位）である。

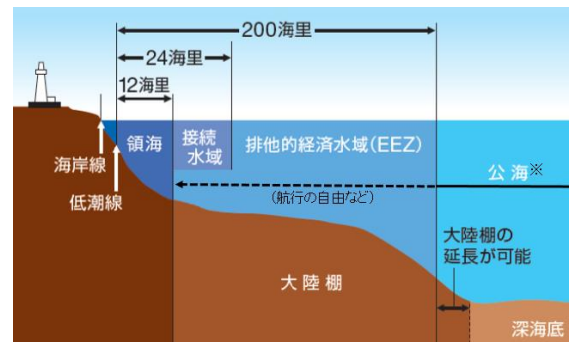
② 主権…「最終的な意思を決定する権力」

「全ての人を統治する権力」

「他国から独立できる権力」

これらが備わった国を、〔<sup>5</sup> **主権国家**〕という。

cf: 〔<sup>6</sup> **ボーダン**〕…主権の概念を理論化した人物



※ 2 領海・排他的経済水域の模式図(海上保安庁 HP より)

## (ii) 国家のあり方

### 《絶対王政から民主政治へ》

ヨーロッパの近代国家=王による支配で成り立っていた。(絶対王政)

この頃の思想= 〔<sup>7</sup> **王権神授説**〕→王による独裁支配を正当化



17c~18c **市民革命**：政治の仕組みを根本的に変えよう！という動きが世界的に広がる

〔<sup>8</sup> **社会契約説**〕：王権神授説を否定する形で、新たな国の在り方を示していった。

cf:時代によって変化してきた国家の形

18c~19c 〔<sup>9</sup> **夜警国家**〕

市民革命がおこり、国民が自由を獲得した。  
国家は、国民の生活にあまり関わらない。

最小限の治安維持にとどめていた。

cf:別名 **小さな政府**



20c 〔<sup>10</sup> **福祉国家**〕

失業問題や不況により、生活が苦しくなる  
やはり、国が貧富の格差解消へ向けて

積極的に介入する必要があると考えた。

cf:別名 **大きな政府**

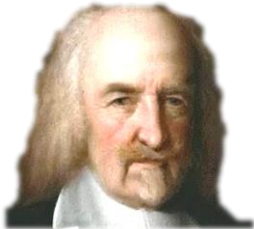
## 《社会契約説》

- **社会契約説**：自由で平等な人間が国家樹立のために契約を結び、それを基にした政治権力の樹立を提唱した

社会契約説を提唱した人物として有名なのが3人！超頻出なので確実に覚えておきたい。

①人間は自然状態でどうなる→②国は自然状態でどうなる→③このような国を作るべき！  
という同じような流れで整理すればよいので、丁寧に抑えていこう。

### 11 **トマス=ホブズ** (英:1588~1679) Thomas Hobbes



- \*主 著 〔<sup>12</sup> 『リバイアサン』 〕
- \*人間観 生まれつき自己保存の欲望がある  
⇒欲望を満たすために互いに争い合う
- \*自然状態〔<sup>13</sup> **万人の万人に対する闘争** 〕  
⇒このままでは人間は恐怖と不安に襲われてしまう。

\*理想国家 人民を守るために、すべての権利を放棄し**自然権を譲渡**する。  
そして、統治者が**強大な力で国民を服従させるのが理想的である**と説いた。  
※結果的に絶対王政のような国家を正当化したことになった。

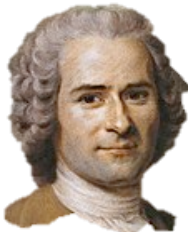
### 14 **ジョン・ロック** (英:1632~1704) John Locke



- \*主 著 〔<sup>15</sup> 『市民政府二論』(『統治二論』) 〕
- \*人間観 人間は理性をもち、基本的には平和を求める。  
⇒しかし、絶対確実に保証されるわけではない。
- \*自然状態 基本的に自由平等が保たれるが、確証はない。  
一部の人により、財産や生命が侵害される危険もある。

\*理想国家 人権の侵害があった時にそれを**裁く権力(=議会)が必要!**(**間接民主制**を理想)  
国民は議会に**自然権を信託**する。  
※もし議会が権力を乱用したときには、〔<sup>16</sup> **抵抗権** 〕(**革命権**)を行使する。

### 17 **ルソー** (仏:1712~78) Jean-Jacques Rousseau



- \*主 著 〔<sup>18</sup> 『社会契約論』 〕
- \*人間観 自由で平等で、思いやりのある存在
- \*自然状態 本来は平等な世界であるが、発達することで格差が生まれ、戦争状態を生み出してしまうことがある。

\*理想国家 みんなが初心に帰れば大丈夫。(有名な言葉「自然に帰れ」)  
→社会の幸福を目指す共通の意思=〔<sup>19</sup> **一般意志** 〕をもち、  
みんなが政治に参加できる**直接民主制**が理想!

- +α ■ ロックの思想は**アメリカ独立革命**に影響を与えた
- ルソーの思想は**フランス革命**に影響を与えた